



北のまほろば

小田桐 康眞

2024年2月から弘前市立図書館に館長代理として勤務しております、小田桐と申します。

約39年前に市内の高校を卒業して以来、ずっと故郷を離れた暮らしをしておりまして、この度、故郷で仕事のできる機会をいただき、指定管理者であるTRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体に所属させていただきました。

現在の図書館の基本的な機能を充実させるのはもちろん、この地域の中でのこれからの図書館の役割を創造すべく取り組んでまいります。

皆様、宜しくお願いいたします。

今回、私はサラリーマンからの転職という形で、故郷の図書館員となりました。まったくの畑違いの仕事であり、そして、まさか地元で青森での仕事に就くことは、ちょっと前の自分からは想像しにくいことなのですが、「これも必然」と思えることが三点ほどあります。

一点目は、15年ほど前、「大間のマグロ」や「田子のニンニク」などのブランドを立ち上げた金谷年展さんと仕事をした時のことです。高校を卒業し都会に出たものの、「青森出身者は田舎者」という思いが頭から離れず、大人になっても胸を張って「出身は青森です」と言えないままでした。

今と違って、情報や行き来する交通手段も乏しかった時代であり、メディアで「青森」を見聞きする機会は少なく、言葉すら通じなかったもので、しょうがないですよ。金谷さんは青森という田舎の出身に自信を持ってない私に対し、「大間のマグロ」や「田子のニンニク」などのブランド化のプロセスや、それまで金谷さんの携わった仕事、そしてマーケティング次第で青森にたくさんの魅力やチャンスを生み出すことができることを教えてくれました。

二点目は、前職で弘前市出身の上司の方がいたのですが、青森出身であることに胸を張れない私に一冊の本を紹介してくれたこと。司馬遼太郎の『街道をゆく 北のまほろば』との出会いです。この本を通じ、青森の歴史、そして意外にも多くの才能のある人物を輩出していることを知り、故郷・青森の誇りを感じることができたとともに、司馬遼太郎がここまで青森のことを調べてまとめたことに驚き、自分の故郷でありながら何も知らなかった自分を反省しました。

三点目は、宮城県の名取市図書館の東日本大震災後の再建です。転勤族だった私は、子どもの成長のタイミングもあり、宮城県名取市への家族での引越しを最後に、震災の2年ほど前から単身赴任をしていました。家族がよく利用していた名取市図書館は、築53年の建物被害で使えなくなっていました。2018年に生まれ変わった新図書館がオープンしました。恥ずかしながら、それまで図書館を利用することがほとんどなかった私でしたが、その名取市図書館に行き、驚きまし

た。「情報発信コーナー 名取の宝ばこ」という地域資料のコーナーに、これまで受け継がれてきた地域のさまざまな資料が、これでもかというほどに並び、読むことができます。これぞ、司馬遼太郎の『街道をゆく 北のまほろば』の空間だと感動しました。

そして2023年の夏、青森に生活の拠点を移すために不安ながらも転職を決意し、図書館員の仕事と出合った時、この三つの出来事につながりました。

図書館には、たくさんの知識や情報が収納され、たくさんの地域資料がある。それらを地域の人々とつなげていけば、より強い地元愛を醸成できる。地域の魅力や強みを再発見することができる。そしてそれらを活かす知識を学ぶことができる。今やネット社会で、ネットで検索することでいろんな情報を手に入れることができますが、図書館はその比にならないことを、私自身ウェーブマーケティングにも携わり痛感しました。

「地域の皆さんが図書館を活用することは、地域の活性化につながっていく」と信じ、多くの市民とつながる弘前市立図書館を実現してまいりたいと思います。

(弘前市立図書館 館長代理)



司馬遼太郎著『街道をゆく41新装版 北のまほろば』



イベント実施報告 2月～5月

〔弘前図書館〕2月18日

ぬいぐるみのおとまり会 in 弘前図書館
待ちにまつたおとまり会！



すやすや眠るぬいぐるみたち

お気に入りのぬいぐるみ
を連れて、笑顔で会場入
りした子どもたち。今年
のテーマは「おかし」。ぬい
ぐるみたちと一緒にみんな
楽しい時間を過ごしました。

はじめに、絵本『ぐりと
ぐら』のお話を聞き、ぐり
とぐらが作るカステラを想
像してわくわく。次に、「な
にができるかな？」クイズを行
い、いろいろな種類のお菓子
やお料理の作り方をクイズ
方式で楽しく学びました。
その後、折り紙でクッキー
とドーナツを作り、シール
でおいしそうにデコレー
ションをして楽しみまし
た。

最後に、ぬいぐるみに
絵本を読んで寝かしつけ
たら、子どもたちはここ
でお別れです。お昼寝
から目覚めたぬいぐる
みたちは、本の修理や
書庫の探検、「はとぶえ号」
の運転など、図書館
のお仕事を手伝いなが
ら過ごしました。そんな
ぬいぐるみたちの姿を
こっそり撮影してアル
バムにし、お迎えにき
た子どもたちにプレ
ゼントしました。

〔弘前図書館〕3月16日

弘前ライブラリーシネマ
「そして父になる」を上映

3月16日、弘前図書館にて、弘前ライ
ブラリーシネマを開催しました。今年
は、受付開始直後からたくさん
のご応募をいただき、至上限
速、受付初日で定員に達しまし
た。当日は冬の寒さの残る日
でしたが、40名の方が足を運
んでくださいました。

今回の上映作品は、カンヌ国際映画祭
で高い評価を受けた、是枝裕和監督
の「そして父になる」。新生児取
り違い違い問題を題材に対照的
な二つの家族の交流を描き、「家
族とは何か」を問うける物語
です。シリアスなテーマですが、
小学生からご年配の方まで、た
くさんの方が俳優陣の熱演に魅
入られていました。特に、福山
雅治さん演じるエリートサラ
リーマンの父親が、自分の子
供と心から向き合い、成長し
てゆく姿が見どころでした。終
盤の展開に思わず涙ぐむ方も
いて、最後まで楽しんでいただ
けたよう嬉しく思います。



ライブラリーシネマの様子



〔岩木図書館〕2月24日

読み聞かせボランティア講習会
読み聞かせを始めてみませんか？



読み聞かせ講習会の様子

「読み聞かせボランティア講習会」
を開催し、当日は10名の方にご参加
いただきました。前半は講師が
資料を用いて講義を行いました。
体験談やボランティア活動を通
して感じたことを交え、読み
聞かせの意義と役割、実際に
行う際の注意点などについて
説明していただきました。後半
は講師が読み聞かせの実演を
行いました。講義内容を踏ま
えたバラエティに富んだ内容
に、実演終了後は複数の参加
者から講師へ質問がなされ
ていました。参加者からは「講
義がとてもわかりやすく、その
後の実演もとても楽しかった」
「具体的に教えていただき参
考になった」「色々なコツや
考え方を知ることが出来た」
「とても勉強になった」などの
感想をいただきました。1時
間15分という短い時間で
の講習でしたが、会場の様子
や感想から参加者の皆さん
に喜んでいただけた講習会
になったようでした。





絵本を選ぶ親子

皆さん自分の好みの本があると思います。ガシャポンのイベントを通して今まで興味がなかった本との出会いや、新しい発見などがありましたら大変嬉しいです。たくさんのご参加ありがとうございます。来年も楽しんで！

〈岩木図書館〉4月13日～5月12日 HAPPY EGG どんな絵本に会えるかな？

子ども読書の日とこどもの読書週間にあわせ、ガシャポンのイベントを開催しました。ガシャポンのエッグの中には子どもたちが好きそうな本のテーマが入っています。今年は「スイーツ」「どうぶつ・むし」「りょこう」など6種類のテーマを用意しました。家族連れには特に喜んでいただき、テーマ別の本棚から気に入った本を一所懸命に考えて探す子どもたちの姿はとても可愛らしく、微笑ましかったです。「いつも好きなジャンルの本ばかり読んでいるので、こういう機会があると読書の世界が広がって楽しいです！」と親御さんから嬉しいお言葉をいただきました。新しい本との出会いがあったようです。期間中、何回も足を運んでくれた子どもたちもいて、連日賑やかなイベントとなりました。

〈こども絵本の森〉2月25日 雑誌の無料配布 今年も大盛況！15種類の雑誌を無料配布！



雑誌を選ぶ人々

例年大人気の「雑誌の無料配布」を今年も開催し、当日は70名の参加がありました。開館前から多くの方が並んでくださり、開館と同時に整理券をお渡しし、番号順に10分入れ替え制で実施しました。今年、こども絵本の森でお配りした雑誌は『クローヨン』や『かぞくのじかん』などの子育て関連のものや、『MOE』などの絵本関連の雑誌、『ジュニアエラ』や『NEWSがわかる』などの小中学生向けの雑誌などです。その他にも『ダ・ヴィンチ』や『3分クッキング』『サンキュ！』などもありました。雑誌は1人3冊までの制限があり、すでに決めていた雑誌を迷いなく手に取る方や、時間ギリギリまで悩んでいる方もいらっしゃいました。また、毎年大人気の雑誌の付録は1人1点までの配布でしたが、今年もすぐになくなりました。閉館までに、140冊の雑誌が全て持ち帰られました。毎年恒例のイベントですが、今年も数日前から問い合わせの電話をいただくなど、改めて人気の高さを感じました。今後も継続して開催する予定です。

〈こども絵本の森〉4月1日～5月12日 こどもの読書週間 ひらいてワクワク めくってドキドキ



道具の準備はバッチリ！

紹介してくれた本は4月23日から展示と貸出を行いました。人気の本から読んだことがない本まで、ずらりと並んだおすすめ本たちと、新しい出会いがありましたらこちらも嬉しく思います。

満開の桜が弘前を彩るこの季節、今年もこどもの読書週間の時期がやってきました！こども絵本の森では「新生活 おめでとう！」をテーマに、4月1日から5月12日まで、皆さんのおすすめ本の紹介・展示を行いました。スタッフが色画用紙で作ったランドセルやクレヨン、コップなど、園や学校生活で使う「持ち物カード」に好きな本について記入してもらい、カードは館内の手作りボードに掲示しました。カラフルなペンで色鮮やかに書いている子や、かわいいイラスト付きで紹介してくれる子、何枚も記入してくれる子など、おかげさまで今年もにぎやかな紹介ボードになりました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。



おすすめ本の展示



インターネットサービス②

前回に引き続き、弘前市立図書館のインターネットサービスについてご案内します。今回は、本の検索の仕方とインターネットからの予約方法をお伝えします。

資料を検索する

気になる資料が弘前市立図書館にあるか、事前に検索してみましょう。表紙画像付きでひとめでわかりやすくなっています。

「メニュー」の「本を探す」をクリック

①「蔵書検索・予約」をクリック

②書名や著者名などを入力して「検索」をクリック

③気になる資料をクリック

資料のあらすじや内容を確認できます。

蔵書数や貸出可能数を確認できます。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

資料詳細

18年4月の27日

小嵐洋絵為信上 四書

北条新社 2021/12

津軽太平記 みちのくの國 洋絵為信一代記 四書

河出書房 2005

※ 検索窓にキーワードを入力する時は、スペースを入れないでください。



資料を予約する

ログインすれば、来館したり電話したりせずともインターネット上から資料の予約をすることができます。

①「蔵書検索」や「ランキング」などから予約したい資料を選ぶ。



②「予約かごに追加」をクリック

③「予約かご」をクリック



メール
連絡不要

連絡方法を選択します (電話連絡は選択できません)。

弘前図書館
 岩木図書館
 相馬ライブラリー
 こども絵本の森
 移動図書館

受取館を選択します。移動図書館を選択したときは必ず「受取ステーション」も選択してください。

⑤「連絡方法」と「受取館」を指定したら「予約」をクリック



④実際に予約する資料を選択して「予約」をクリック



⑥予約情報に間違いがなければ「送信」をクリック



⑦画面上部に「予約申込を受け付けました。」と出たら予約完了です。





BOOK REVIEW この本が面白い!

『ルポ 筋肉と脂肪 アスリートに訊け』

平松洋子／著
新潮社
2023年刊



自分の身体・パフォーマンスに合わせ、いかに効率よく、ストレスなく、ベストなタイミングで必要な栄養素を摂取するかどうかで勝敗が変わり、現役を続けられるかにも影響を及ぼす。気合、根性、という精神論では戦い抜くことが難しい現代において、アスリートたちが「食べること」にどれだけ重きを置いているかを知ることができる1冊です。今年オリンピックの「食べた」成果が十分に発揮されるといいですね。

『笑いと涙の認知症介護 アルツフルデイズ』

ワフウフ／著
フォレスト出版
2023年刊



かつて毒親だった母親が認知症になり、突如始まった介護生活。認知症の自覚が全く無く、自由に行動する母に戸惑いと苛立ちを感じつつも、妻を金づるとしか思っていない父から守りながらの介護の様子が赤裸々に綴られています。自分はボケていないと言う母をどうやって病院に連れて行くか、母の財産管理はどうするか、本人の意思をどこまで尊重すべきか、自分の生活を優先するのは薄情なのか…と悩む姿に共感する人も多いと思います。

『古代遺跡の学校 わかりやすくしておもしろい!!』

森谷公俊／監修
ニュートンプレス
2024年刊



世界中で見つかった古代遺跡。その場所は、大昔の人々がそこに生きた証でもあります。どのくらい前に、どんなふうにも暮らしていたのか。そして、その文明や国はなぜ消えたのか。古代遺跡はその謎を知る手がかりです。本書では、世界を7つの地域に分け、歴史をたどりながら古代遺跡の紹介をしています。写真もふんだんで、まるでその場所に行ったかのような気分になります。ぜひ、歴史への旅に出かけてみてください。

『メアリ・ジキルと マッド・サイエンティストの娘たち』

シオドラ・ゴス／著
早川書房
2020年刊



主人公は「あの」ジキル博士の娘メアリ。父と母の死をきっかけにある大きな組織と戦うことになった彼女に手を貸すのは、フランケンシュタイン博士など一度は聞いたことのある博士の娘たちと、名探偵シャーロック・ホームズだった！ヴィクトリア朝ロンドンを舞台に、個性豊かな娘たちとホームズが、得意分野を発揮して協力し合いながら謎を解き敵に立ち向かう様子は必見です。昨年12月にはシリーズ最新巻が出版されました。

『海を渡ったニッポンの家具 豪華絢爛仰天手仕事』

LIXIL出版
2018年刊



明治時代、日本から数多く輸出されていた工芸品。海外向けにアレンジされた花鳥画や人物画、古代文様など多彩な装飾が海の向こうの人々を魅了しました。本書ではその中でも家具に焦点を当て、職人の細密精巧な手仕事と絢爛豪華な意匠が施された作品の数々を紹介しています。中でもほぼ全面が寄木細工で彩られた箆笥や飾り棚は、写真で眺めているだけでもその多様な幾何学模様の世界に入り込んでしまいそうな凄みがあります。

『#どれだけのミスをしたかを競う ミス日本コンテスト』

水餃子のカンパネラ／編
KADOKAWA
2019年刊



この本ではX (Twitter) のハッシュタグ「#どれだけのミスをしたかを競うミス日本コンテスト」に投稿されたミスのエピソードの中から、傑作エピソードの数々を紹介しています。人はどうしてもミスをしてしまうもの…。爆笑ミスからじわじわくる失敗談、大勢がやらかしている共感度の高いミスなど、多種多様なミスに元気をもらいます。外出時に読むときは腹筋と頬の筋肉に力を入れ、周囲に人がいないか十分に注意が必要な1冊です。



お知らせ・図書館イベント等の情報 7~8月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
4館合同 (弘前・岩木・こども・相馬) 8月1日 (木) ~8月31日 (土)	4館スタンプラリー	【対象】 どなたでも・申込不要
弘前図書館 7月6日 (土) 10時~12時	調べる学習特別講座 in 弘前図書館	【対象】 小学生以上の方 【定員】 10名 (先着順・つきそいは1名まで) 【申込】 6月1日 (土) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月13日 (土) 13時~15時	弘前ライブラリーシネマ	【上映作品】 『忍たま乱太郎 忍術学園全員出動!!の段』 【定員】 30名 (先着順) 【申込】 6月24日 (月) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月20日 (土) 14時~14時40分	第29回夏休みおはなし会	【対象】 幼児、小学生 【定員】 30名 (先着順) 【語り手】 おはなしボックスの皆さん 【申込】 6月24日 (月) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月21日 (日) 13時30分~15時	市民講座 「なんだカンダの実験ショー！」 不思議ワールドの目撃者はあなたです。	【対象】 5歳以上 (ただし就学前のお子さんには保護者1名同伴) 【内容】 「工作・超能力スプーン」に挑戦! できたものはお持ち帰りいただくことができます。 【定員】 40名 (先着順) 【申込】 6月24日 (月) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 ①7月31日 (水) ②8月1日 (木) ※①②③は同内容。 ③8月2日 (金) いずれかを選択。	図書館のお仕事やってみ隊	【対象】 小学4年生~6年生 ※申込方法や開催時間など詳細は後日発表
岩木図書館 7月27日 (土) 10時30分~11時	夏休み応援企画 自分だけの万華鏡を作ろう!	【対象】 小学生 【定員】 10名 (先着順) 【申込】 7月13日 (土) 9時30分から 岩木図書館カウンターまたは電話で受付
こども絵本の森 7月19日 (金) ~8月14日 (水)	夏休みおはなしクイズラリー	【対象】 小学生まで 【申込】 不要
相馬ライブラリー 7月18日 (木) ~9月1日 (日)	夏休み特別企画 本のおたのしみくじ2024in そうま	【対象】 どなたでも 【申込】 不要
相馬ライブラリー 8月18日 (日) 10時30分~11時30分	夏休み特別企画おはなし会 さいたさいたおはなしの花 in 相馬	【対象】 幼児~小学生 【申込】 不要

弘前図書館 蔵書点検に伴う臨時休館のお知らせ

休館期間：6月10日(月)～20日(木)

蔵書点検のため休館いたします。移動図書館車も運行休止となります。なお、休館期間中の返却は、弘前図書館東北電力側玄関、総合学習センター、まちなか情報センター、JR弘前駅(改札口付近)にある返却ポストまたは岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリーをご利用ください。

岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリーは通常通り開館しております。

弘前図書館 開館時間 平日 9:30 ~ 19:00 土日祝 9:30 ~ 17:00 休館日…毎月第3木曜日 ※ただしその日が祝日の場合はその翌日 年末年始 蔵書点検期間 電話 32-3794	岩木図書館 開館時間 平日 9:30 ~ 19:00 土日祝 9:30 ~ 17:00 休館日…毎週月曜日 年末年始 蔵書点検期間 電話 82-1651	こども絵本の森 開館時間 10:00 ~ 18:00 休館日…毎月第3木曜日 ※ただしその日が祝日の場合はその翌日 蔵書点検期間 電話 35-0155	相馬ライブラリー 開館時間 9:30 ~ 17:00 休館日…毎週水曜日 年末年始 蔵書点検期間 電話 84-2316
--	--	--	--

発行：指定管理者 TRC・アップルウェブ・弘前ペンクラブ共同事業体

